

英語英米文学科 3年

留学先：カナダ・マウントアリソン大学

留学期間：2023年5月～2023年12月

留学ではとにかく多くの人に話しかけることを意識した。理由は主に二つある。

一つ目は英語力向上のためだ。日本でも英語の授業を受けることで、英語の勉強をすることができる。しかし、英語圏で周りの外国人と会話をしながら学んでいく環境がベストだと考える。なぜなら、日常会話で使われる表現を覚えて、実践的な英語を習得することができるからだ。それに、授業や自習でインプットした英語表現を実際に会話の中で使ってアウトプットすることで、記憶が定着しやすい。目からも耳からも英語を浴びながら学ぶことで、英語が母国語の人に話しかけることに抵抗がなくなり、留学前より自分の英語力に自信を持つことができたように感じる。ダウンタウンのカフェにベトナム人の友人とよく出かけたり、教室で話しかけた生徒と毎週一緒に授業を受けたり、食堂で隣になった人に積極的に話しかけたり、とにかく自分から英語で話すようにしていた。日本人がその場で一緒にいたとしても、日本語の会話によって海外出身の学生に疎外感を感じさせないように、英語でできるだけ会話するようにした。日本人以外の人と四六時中一緒に過ごすことは、留学前では想像していなかった。speaking, listening, reading, writingなどの四技能の向上以外に、精神的な面で英語力が向上したことを嬉しく感じる。

二つ目は異文化交流のためだ。留学を通して、海外の様々な文化を知れただけでなく、日本文化の良さも改めて実感することができた。印象に残っているのは、日本食の焼きうどんとカレーうどんを、日本人何人かと、香港人、ボリビア人の学生と一緒に、寮のキッチンで作った。うどんの麺や、みそ汁のものは大学近くのスーパーに売っていたので、現地の人々に需要があるのだなと感じた。他にも、日本文化クラブに所属してイベントの準備や当日の仕事をした。日本文化に興味のある現地の学生に向けて、浴衣を着付けたり、茶道や書道を教えたりした。日本映画のドラえもんやジブリ作品を英語字幕で見る機会もあった。自分が特に楽しんでいて異文化交流は、友人とお互いの母国語を教えあうことだ。日本語を海外の学生が学ぼうとしてくれるのが、自分の文化を受け入れてもらえたように嬉しかったし、英語以外に韓国語・スペイン語・中国語を少しだが学ぶことができて良かった。数字を言っていくトランプのゲームをしたときに、英語の数以外にスペイン語や中国語を使って言うのが難しく感じたが、楽しんでプレイした。

カナダでの留学は英語を学んだり、海外の文化を感じたり、日本の文化の良さを再確認するのに絶好の機会だった。帰国する頃にはとても名残惜しくなるほど、非常に楽しく有意義な時間だった。留学で学んだことを通して、英語を学び続け、様々なことに挑戦していきたい。

